



綿打小通信

平成30年10月15日発行

No.9



わたうち

10月

130周年記念運動会 ～勝利へとつき進め 熱き綿っ子魂～

9月29日(土)に行われた運動会は、小雨の降る中、プログラム内容を変更して午前中だけの開催となりましたが、PTA役員の方々をはじめ多くの保護者の皆様のご協力により無事に実施することができました。多くのご家族や地域の方々にご観覧いただき、精一杯演技したり一生懸命走ったりする児童に温かい声援や大きな拍手が送られました。ご来賓の方々からも、子ども達の一所懸命に取り組む姿に多くの讃辞をいただきました。係分担やテント、机、椅子の後片づけなど、たくさんの方々にお手伝いをしていただき、改めて、教職員一同、心より感謝とお礼を申し上げます。

5・6年 鼓笛パレード



5・6年表現 綿打協奏曲



1・2年表現 笑一笑



3・4年表現 U・S・A



閉会式



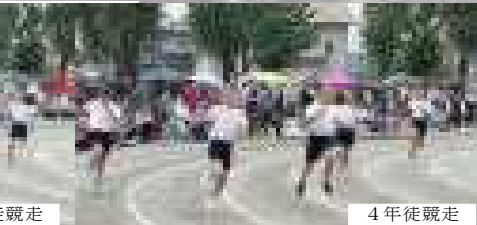
1年徒競走



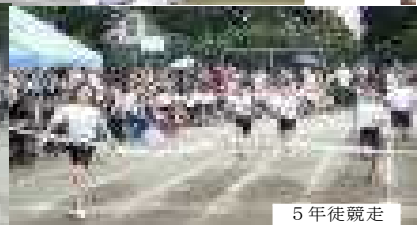
2年徒競走



3年徒競走



4年徒競走



5年徒競走



6年徒競走



6年遊競技 ラージャンプ

赤城団 (赤)	719
緑名団 (緑)	703
妙義団 (黄)	786
結果発表	

新しい職員を紹介します

日本語指導助手（タガログ語）：
介助員：

食育の推進

毎月、新田学校給食センターの学校栄養職員による教室訪問が行われています。9/20(木)は、栄養教諭の先生が、4年生に朝食の大切さについて分かりやすく説明してくださいました。しっかりと朝食を摂ることによって体温が上がり脳や内蔵が働いて一日を元気に過ごすことができます。



10月のテーマは農産物についてです。地場産の食材や生産者の思いを知ることによって、食への興味関心を高めるとともに、感謝の気持ちをもって給食をおいしく残さず食べることの大切さを伝えています。

また、6年生が、夏休みに、家庭科の課題「新田の野菜で料理を作ってみよう」にチャレンジした料理や栄養バランスを考えたメニューが給食の献立に登場しました。「楽しく食事することが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながる事が分かる」という食育の指導目標にも関連しています。



10/2(火) 6-1
「新田野菜のドライカレー」



10/12(金)6-2
「コンソメスープ」

「いじめのない綿打小学校」

9月の全校集会で、「太田地区いじめ防止フォーラム」に参加した代表児童から報告がありました。小・中・高校生の代表者が意見交換を行ったことを基に、全校児童に向けていじめ防止のメッセージを伝えました。

8月6日に太田地区いじめ防止フォーラムがありました。私は、綿打小学校の代表として参加してきました。小学校17校、中学校18校、高校9校の合計44校が参加しました。

まず、人間関係づくりの体験活動をしました。そこでは、二人ペアになって一人が手を組んで、もう一人が挙げてほしい指を選んであげてもらおうという頭で分かっているけど体が動かないときの気持ちになる体験をしたり、困っている子の味方になるコミュニケーションについての話を聞いたりしました。

次に、7つの班に分かれて、「仲間が困っていること、悩んでいることに気づき、仲間同士で支え合うために私たちにできること」というテーマで班別協議をしました。私の班で出た問題は、「さわがしい人がいる」、「苦手な人への差別」、「上下関係のコミュニケーション」でした。その問題について一人ずつ意見を出しました。その結果、「共感する」という意見が多く出ました。そして、一枚の模造紙にまとめました。また、スローガンも考えました。そのスローガンは、「相手の気持ちになってもう一度考えてみよう」です。

最後に、私からみなさんにぜひ覚えておいてもらいたい言葉があります。それは、「人がいやがることは、いじめ」です。自分ではいじめているつもりではなくても、相手がいやがることはいじめになるということです。みなさんでいじめのない綿打小学校にしましょう。

